

おおま 議会だより

祝 大間小学校開校
150周年

令和5年11月1日発行 No.119

主な内容 9月定例会

- P2～P3 第3回定例会
- P4～P8 一般質問
- P10～P12 議会のできごと

【発行】青森県大間町議会 【編集】議会広報編集委員会

〒039-4692 青森県下北郡大間町大字大間字奥戸下道 20-4 電話 0175-37-3029

令和5年第3回定例会を9月8日に開会し、9月14日に閉会しました。本議会に提案された議案8件はすべて原案のとおり認定、可決、同意しました。

令和5年度 補正予算

一般会計

歳入歳出それぞれ3億4,986万円を追加し、歳入歳出の総額6億7,301万円となりました。

歳入の主なるもの

地方交付税

○普通交付税の交付額の確定に伴い3億1,412万円追加。

国庫支出金

○国庫負担金で保育所運営費負担金587万円、保育所運営費負担金(過年度分)156万円それぞれ追加計上。

県支出金

○県負担金で保育所運営費負担金130万円、保育士等処遇改善臨時特例交付金253万円、それぞれ減額計上。
○県補助金で青森県核燃料物質等取扱税交付金184万円減額計上。

繰入金

○奥戸漁協に係る水産振興基金の令和7年度分1,300万円の取り崩し。

諸収入

○受託事業収入で高齢者の一体化事業負担金390万円計上し、町債で臨時財政対策債の発行可能額の確定に伴い755万円減額計上。

歳出の主なるもの

総務費

○総務管理費の財産管理費で財政調整基金積立金7,000万円、地域福祉基金積立金1億5,000万円それぞれ追加。

民生費

○社会福祉費の社会福祉総務費で下北地域広域行政事務組合負担金163万円、身体障害者補装具給付費184万円、令和4年度障害

農林水産業費

者自立支援給付費国庫負担金返還金262万円それぞれ計上。
○衛生費の清掃費で指定ごみ袋製作委託料156万円、一般廃棄物収集運搬及び施設等業務委託料200万円それぞれ減額計上。

○農業費の繁殖センター費で飼料原料の高騰に伴い飼料費1,326万円、診療頭数の増に伴い手数料283万円それぞれ追加計上。

○水産業振興費で、大間町水産振興事業費補助金1,300万円追加計上。

土木費

○道路橋梁費の道路橋梁維持費で道路台帳補正業務委託料550万円、道路維持補修工事500万円、港湾費で港湾改修事業負担金1,715万円をそれぞれ計上。
○住宅費で町営住宅根田内団地建替実施設計

消防費

○消防施設費で消火栓改修工事111万円、公債費の利子で一時借入金利子789万円を追加計上。

予備費

○財源調整いたしました4,607万円追加計上。

財産の取得

1. 契約の目的(仮称)大間町複合施設用庁用備品購入
2. 契約の方法指名競争入札
3. 契約の金額13,387,000円
4. 契約の相手むつ市大湊浜町14-9株式会社 村井商店
代表取締役 村井利嗣

教育委員会委員の再任

小向 英徳氏

選挙管理委員の再任

菊池 泰進氏
大内 二郎氏
柴田 弘子氏
松尾 圭哉氏

選挙管理委員補充員当選

山本 稔氏
伊藤 健一氏
竹内 眞也氏
熊谷 謙治氏

歳入・歳出諸決算審査特別委員会報告

令和4年度

歳入・歳出諸決算を

認定

①一般会計歳入決算

歳入	収入済額	70億3,536万4,700円	収入未済額	6,749万5,997円	予算額との比較	△4億1,490万8,134円
歳出	支出済額	68億5,049万1,376円			不用額	1億5,265万7,208円

②国民健康保険特別会計

歳入	収入済額	6億7,350万3,733円	収入未済額	1億3,524万9,999円	予算額との比較	201万733円
歳出	支出済額	6億6,046万1,750円			不用額	1,103万1,250円

③後期高齢者医療特別会計

歳入	収入済額	621万9,276円	収入未済額	183万100円	予算額との比較	△122万6,724円
歳出	支出済額				不用額	772万9,846円

④介護保険特別会計

歳入	収入済額	6億7,723万4,462円	収入未済額	1,480万1,443円	予算額との比較	△646万9,538円
歳出	支出済額	6億921万139円			不用額	4,449万3,861円

⑤下水道事業特別会計

歳入	収入済額	2億3,242万3,973円	収入未済額	208万9,113円	予算額との比較	1,730万8,027円
歳出	支出済額	2億3,242万3,973円			不用額	1,730万8,027円

⑥水道事業会計 (1)収益的収入及び支出

歳入	収入済額	1億6,181万3,478円	予算額に比べ決算額の増減	△71万522円
歳出	支出済額	1億5,514万3,433円	不用額	254万3,567円

(2)資本的収入及び支出

収入済額	2億5,465万4,203円	予算額に比べ決算額の増減	△629万5,797円
支出済額	3億1,825万1,855円	不用額	895万3,145円

⑦大間町健全化判断比率 () 内は、当町の早期健全化基準比率

実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
△7.1% (15.0%)	△14.1% (20.0%)	12.4% (25.0%)	47.8% (350.0%)

⑧大間町資金不足比率 (経営健全化基準比率は20.0%である)

大間町水道事業会計	0.0%
大間町下水道事業特別会計	0.0%

監査委員から

審査の結果

一般会計及び特別会計の歳入歳出決算書並びに水道事業会計決算書、歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調査及び財産に関する調査は、関係法令に準拠して作成されており、その計数は、それぞれの関係諸帳簿その他証書類と照合した結果、誤りのないものと確認した。

また、各基金の運用状況を示す書類の計数についても、関係諸帳簿及び証書類と符合しており誤りのないものと認められた。

留意改善を要する事項

一般会計及び特別会計では不能欠損の額が上昇しており、時効によるものが大半との説明を受けてはいるものの、時効中断の作業等も考える必要がある。

町税及び各特別会計の収納対策としては、青森県市町村税滞納整理機構へ徴収依頼し収納率向上を図っているが、町県民税はじめ各種税においては未収額が多額となっている。少子高齢化により課税対象者も減少し、景気低迷による税収の悪化が危惧されることから、更なる収納対策を講ずるよう今後も継続実施していただきたい。

なお、公金の取扱いに関しては、職員それぞれが公務員としての立場を改めて認識し事務にあたっていただきたい。



堀 祐介 議員
質問時間 45分

健康について問う

厚生労働省が、5年ごとに公表している市区町村別生命表で、男性の平均寿命が、当町が全国ワースト6位町として、この結果を受け今後どのような対策を行うのか

町長答弁

町民の健康に関する対策として、健康診断の実施や運動教室等を行っている。

健診率が毎年32パーセント前後で推移しており、県平均の約38パーセントと比べ低い状況です。

町民の健康に対する意識の向上を図るべく、さまざまな場面で働きかけを行っていききたい

再質問

健診率が上がらない要因は。

町長答弁

保健協力員等や町内会、いろいろなポスター

貼ったりして、健康の大切さを普及してありますが、なかなか健診にきてないのが現状。特に、40代、50代の方が健診率が低い。

再質問

健康寿命というのを伸ばすことが、平均寿命を上げるには必須なこと町で取り組んでることあるか。

町長答弁

10月体育の日に健康ウォーキング、今回は、健康的な簡単に自分の健康を分かることを、明治安田生命、第一生命さんのお力を借りる。

再質問

体を動かすだけが健康づくりではない町民の健康を促進するためにも、例えば、20代だと生活習慣病に関しての正しい知識を得るとか、あとは、適切な食生活を送る。習慣づけるってことが

重要なんですよね。

基本的なこと、十分な睡眠をとる、お酒を控える、禁煙に取り組み、口腔内の健康を維持する。小学生に対しては、医療補助もある、是非歯医者に通ってくださって

いう啓発を町民の健康意識を向上させるために、対策を行う考えはあるか。

町長答弁

意識を変えるためには子どものころから変えなきゃいけない。

今後、そういう継続的な運動を皆さんに知ってもらうということが大。是非、進めていきたい。

認定こども園について問う 令和3年の12月定例会で、スケジュール見直しを決めましたが現在の状況は？

町長答弁

令和3年12月に認定こども園への移行スケジュールについて見直しすることを説明したあと、今年の2月に六ヶ所村と東通村の施設を視察することができた。

再質問

令和6年度以降のうみの子保育園の指定管理に、恵愛福祉会を候補者として協議中、認定こども園について恵愛福祉会

も了承。

なお、大間幼稚園については、認定こども園開設に合わせて、閉園する方向で進めていきます。住民説明会を開催し関係者のご理解を図っていききたい。

再質問

スケジュールを見直しして期限を設けないそれ以降、何も進んでないようには正直思いました。保育園等を視察に行って報告受けて課題等あるか。

町長答弁

今年の2月に、ようやく六ヶ所村と東通りの施設を見学できておりましたが、認定こども園への移行については、町としての課題は、議会全員協議会で説明後、幼稚園の保護者による反対意見により、移行時期の見直し、保護者からの理解が得られるようにしていく

再質問

当初の予定では、保育型の認定こども園というお話で、総合的に考えると、県内でも保育園型のこども園が少ない、ほとんどが幼保連携型の認定こども園となっている、当初通り保育型のこども園でいくのかお伺いしたい。

町長答弁

町では、保育所型の認定こども園となります。幼保連携型は、法的な位置として、学校かつ児童福祉施設となるため、町の施設なので委託できない。

再質問

保育型は、児童福祉施設となるため、委託ができません。

再質問

前回、保護者の人たちが、反対、署名活動までして、経緯というのは、町からの説明が一切なく、いきなり幼稚園の閉園が、伝えられて、認定こども園に移行しますと言われて、保護者たちが憤慨した。

再質問

今も説明会等は、町側の考えとすれば、議会の了承を得てから保護者の説明会になる流れ、前回と同じことが起こるような気がして危惧している。

町長答弁

ご理解をいただきたい

町長答弁

町では、保育所型の認定こども園となります。幼保連携型は、法的な位置として、学校かつ児童福祉施設となるため、町の施設なので委託できない。

再質問

保育型は、児童福祉施設となるため、委託ができません。

再質問

前回、保護者の人たちが、反対、署名活動までして、経緯というのは、町からの説明が一切なく、いきなり幼稚園の閉園が、伝えられて、認定こども園に移行しますと言われて、保護者たちが憤慨した。

再質問

今も説明会等は、町側の考えとすれば、議会の了承を得てから保護者の説明会になる流れ、前回と同じことが起こるような気がして危惧している。

町長答弁

ご理解をいただきたい

再質問

説明会をしてしまうと、議会了承が得ると、議会の承認を要する。私の考えとしては、保護者の方々に対して、これから認定こども園に移行する、幼稚園が閉園するっていうことも、こども園の必要性、こども園の重要性、メリットを丁寧に、説明会という形に拘らず対話をする。保護者たちと対話をして、時間を設けず、保護者たちの気になることを全部答える。

再質問

質問されたら答えるような、そういう対話をする場が必要だと思うが？

町長答弁

議員全員協議会で説明させていただいたあと、直ちに未就学の子どものいる世帯へ、案内文書を送付し、説明会を開催させていただくとともに、広報を活用した記事掲載やチラシの折り込みを予定しています。

再質問

議会の承認なしに住民説明会の開催はできないと判断していますので、保護者にもご理解をいただきたい

再質問

議員全員協議会前に担当課長が、保護者にもう一回説明を行うか

町長答弁

担当課長が保護者に説明するのは普通と思っております。そのあと、私が対話に出ていって、対話集会をやりたい。



議員 厚史 傳法

質問時間 30分

**地上デジタル放送難視
聴対策について**

大間町内の一部で青森県内の放送が受診出来ない状況を把握しているのか、また、対策があるのかお伺いします。

町長答弁

国が示した大間町難視聴地域は、材木地区の一部と二ツ石地区の数件であり、材木地区は影響を受ける戸数も多かった為、町が国の補助金を活用して放送受信施設を建設して対応した。現在、放送受信についての苦情は多くなかったものと感じております。まずは、町内の事業者の皆さん

から聞き取りし、対策については現状を把握し検討したいと思えます。

再質問

まずは、しつかり調査をして頂きたいと思えます。災害時に役立つ情報は、テレビ以外にも、防災無線、ラジオ、インターネット、新聞などがあります。映像で得られるのは、テレビかインターネットだけでなくとなります。インターネットだと操作性の問題もあり、情報収集が難しく、テレビ放送だと災害情報以外にも、県内で起きてるニュースや様々な情報を得ること

も可能です。情報が大事な現在の社会で必要と思われませんが、これについてはどう思われますか？

町長答弁

指摘のあった災害時の対応については、AMのRABラジオが場所によっては聞けなかったが、令和3年1月よるFMでの放送が始まっており、78・8メガヘルツで、視聴可能となっておりますので、もしも災害時には活用できるかと思えます。

再質問

音声のみの情報ですと、耳の不自由な方には不都合かと思えますので、先ほども言われましたが、まずはしっかりとした対策を検討していただきたいと思えます。

町長答弁

音声については、ラジオ放送で聞くことが出

来ますがテレビ画面では、佐井のほうではきちんとした対応してしますので、今後やはりデジタル放送を活用しなければいけないというのは十分検討したいと思っております。

が、通学路等住宅に近い場所への設置はプライバシーを侵害しないよう、理解を得たり、場所、角度などの配慮も必要となります。

防犯カメラ設置について

事故、事件等の発生の際、解決の一助となるので児童が集まる公園や通学路、公共施設に設置により、安心、安全な環境が整うと思えますが

町長答弁

近年、事件や事故が発生した際、防犯カメラの情報が重要となっていることは承知している。当町においては、役場庁舎のほか学校や一部店舗等に設置されておりませんが、町内の屋外に防犯カメラの設置はありません。児童公園等の公共の場には設置可能と考える

再質問

個人情報保護法に従って、プライバシー権、肖像権に留意し、ガイドライン作成などで住民に理解を得らなければならぬのは承知してます。事が起きてから問題視するのでなく事前の対策が大切かと思えます。大間町は観光地でもあり、原子力発電所建設の場所でもあります。町民の方々の他、不特定多数の人が出入りしています。防犯カメラで事件、事故等を防げるものではないが、発生時には早期解決に役立ち、また、未然に防げる効果は期待できません。現に大間で起きた事案で、不審者の出没

が、通学路等住宅に近い場所への設置はプライバシーを侵害しないよう、理解を得たり、場所、角度などの配慮も必要となります。

個人情報保護法に従って、プライバシー権、肖像権に留意し、ガイドライン作成などで住民に理解を得らなければならぬのは承知してます。事が起きてから問題視するのでなく事前の対策が大切かと思えます。大間町は観光地でもあり、原子力発電所建設の場所でもあります。町民の方々の他、不特定多数の人が出入りしています。防犯カメラで事件、事故等を防げるものではないが、発生時には早期解決に役立ち、また、未然に防げる効果は期待できません。現に大間で起きた事案で、不審者の出没

町長答弁

確かに子供達を狙った悪質メールとかいろいろ来てます。それに対応するため必要かと考えます。観光地でもある最北端についても、交通事故やいろんな問題もありますので、その辺でも対応しなければなので検討してまいります。

再質問

まずは、行政が主導となり、防犯の意識を高め、後に町の地区単位で防犯意識が高まり、対策していければ、町全体が安心して暮らせる町になると思えますので検討をよろしくお願ひします。



正根 秋雄 議員

質問時間 40分

町政運営について、

町長として一期目の任期も2年8カ月経過する。

当初掲げた施策はどの程度実現できたか。

今後の任期中において、どのような施策に取り組みたいか。

町長答弁

町政運営についてであります。私は、町長に就任し、笑顔満開のまちづくりを目指し、行政運営を2年8カ月取り組んでまいりました。

今後とも各種の課題解決に焦らず、一步一步前に行政運営に取り組んでまいります。

町の地域防災計画の見直し及び防災マップ作成業務を。

教育振興は学校給食センターは今年度、基本計画ができあがり、建設、運用に前進していく。

県立大間高等学校にお

きましては、県内4校の地域校と指定されましたが、少子化が進む中で生徒数の減少を阻止するため、県内5校目となる全国募集導入校に決定され、令和6年度から導入する。

健康福祉の活動拠点である仮称複合施設が、令和6年4月に運用開始となる予定、町内の子どもから高齢者まで、気軽に集い交流できる拠点を目指す。

少子化対策として、昨年度から子宝祝金支給事業を実施しました。

令和5年度からは、小学校の新入学児童に対し入学祝金給付事業を実施、来年度は、中学校の新入学も実施検討。

町の財政状況について、原子力発電所工事が2年延び、原油の高騰、食料品等の物価高騰、特

に電気料金の値上げ等で、大変厳しい財政状況であり、町の実施する事業をスリム化、イベント等の工夫、町施設の徹底した節約を職員一丸となり取り組んでいく、国・県の各種補助金を活用し、町の経済対策、各種事業を適正な予算で健全化を図りたい。

大間墓地の整備について、大間墓地内の通路整備の計画はどうなっているのか。

県内の市や町で整備が進んでいる合葬墓について町長の考えを聞きたい。

町長答弁

大間墓地の整備についてであります。令和2年度から第1墓園の整備計画に着手しております。

整備にあたり、共有部分である通路でコンクリートのたたきがされており、整備に支障がある箇所は、区画所有者と撤去等に関する協議が必要。

そのため、令和3年度より該当する所有者に対し、今後の墳墓施設設置予定の確認を行い、名義人が亡くなっている場合は、所有者の名義変更をしていただく等の取り組みを実施してまいります。

その結果、墳墓施設がない、27区画のうち、所有権者の本籍が町内にあり、確認できた方が、109件、残り110件については、親族調査が必要ですが、婚姻等で町内に本籍がなくなった方の追跡が困難しております。

再質問

高齢者が増え通路の舗装だけでもできると思うが、高齢者が、車椅子や杖でも、墓参りに行きたいのが、私は当然だと思う。

通路だけでも早めに、着工できないのか。

町長答弁

21区画内に所有者の確認できたのが、109件、残りの110件については、いろいろまだ難題残してまして、連絡とるのが戸惑ってるっていうのが現状。

再質問

整備ができる所でもいから着工できないのか？

町長答弁

予算の状況を確認して、やるように検討していく。

再質問

町長の任期も1年と少しになる。

町長答弁

今の任期中、来年のお盆に向けて整備ができる所から着工できないのか？

町長答弁

やります。

再質問

合葬墓について、大間の町民は興味がある。

この合葬墓の建設のお金は、運営しているところでだしているのか？

町長答弁

建設は、行政で建てます。

再質問

調査に行く気持ちあるか。

町長答弁

実際にはまだ見たことがない。今後、検討するに当たっては、視察も。

再質問

お寺の問題もある。十分勉強してお寺と話し合いをおこなうのか？

町長答弁

いろいろ検討課題が多いと思つてます。

まずは、建物を建てるために、どういう方向で建てたらいいのか検討してみます。

その後、お寺さんや関係者と協議する。



傳法 正広 議員

質問時間 60分

大間町内の交通移動手段の確保について

高齢化と独居世帯が進み、日常生活に欠かせない食料品や衛生用品の確保、命をつなぐ医療機関への通院等の交通移動手段は住民ニーズが非常に高く、町内の交通移動手段の確保対策について町長のお考えは？

町長答弁

介護保険事業等により要支援や要介護認定の方の買い物支援事業を実施している。新たに奥戸・材木地区には、事業者と移動販売の協議をしている。

再質問

サービスなどの対象者は、特定の方々に限定される。移動手段の確保では、自治体の先進事例があります。地域住民が、いつでもどこでも誰でも移動が可能な取り組みとして、大間町地域公共交通協議会等を設置するお考えは？

町長答弁

県内で、バスを運行している町の状況を聞き、できるものであればマイクロバスの利用検討と思います。七戸町かを参考と思っております。

再質問

事業者による買い物支援事業は、令和5年第1回定例会の施政方針にあります。奥戸・材木の方々に限らず、広く下手地区や割石地区にも利便性を考慮し対象地域と考えられないか？

町長答弁

事業者の現状から、多忙で人手の要望もあり難題になっています。

再質問

マイクロバス購入の際、感染症対策やアフターコロナがメイン。落ち着いたら、買い物、高齢者の支援に。という前向きな答弁があります。現在の進捗状況、写真真ほどのようになっているか？

町長答弁

マイクロバスの活用は、コロナが終息後に買い物、医療に使用したい考えです。が、まだ、その構想ができていない。

再質問

交通手段については、買い物支援事業、マイクロバスを活用したアフターコロナ対策でかなり期待してよいと認識してよいのか？

町長答弁

それは認識してください。

移住定住支援政策について

町内でも人口減少傾向は止まらない状況です。定住促進策として、雇用対策確保や住居提供の施策はどのような取り組みか、また、その施策による成果はどのような状況か、さらには、今後の取り組みについて町長のお考えは？

町長答弁

移住定住支援策は、大間町移住支援交付金での支援を行っているが、移住実績がないうです。雇用対策は、企業誘致で大間原子力発電所の建設が成果です。その他、特に企業誘致政策はありません。住居の提供は、大間町空き家バンク制度で有効利用に努めています。引き続き、移住・定住促進の施策を進めます。

再質問

雇用対策で、原子力発電所の雇用確保以外は、企業誘致の取り組み事例がないとのことですが、雇用対策は、必ずしも企業誘致に限らず、町内事業者の雇用確保も重要な定住確保です。町内事業者の経営基盤強化となる取り組みについて町長のお考えは？

町長答弁

今は風力関係の会社が多くて、それは人口増につながっている。当町は、大型店が多く、それは人口増につながっている。他の企業に関しては、公募しても難しい現状です。ゼロカーボンシティー宣言による事業に期待しています。

再質問

住居提供で、例えば、町が

改修の一部を助成し、空き家の保全を図り提供する。住みよい体制を整え空き家を有効活用する施策のお考えは？

町長答弁

町として、改修し移住に結び付ける事業はやってません。不動産会社と協定し、空き家バンクとして活用するのが現状で、大間の魅力を考えたいと思っています。

再質問

大間町総合計画では、令和3年3月策定時当町の推定人口が、2040年（17年後）には、4,171人と想定されています。最近、2040年には、3,000人を下回る推計があります。国内では人口増加傾向になく魅力による自治体間競争が大事になります。町長が述べた「魅力ある町」です。そこで、定住促進に向けた情報提供手段として、分かりやすい専用ファイルで大間町ホームページから、町内外に情報提供することが必要です。町長のお考えは？

町長答弁

おっしゃるとおりです。担当課と協議して魅力が発信できるホームページにしたい。

仮称大間町学校給食センターの基本設計について

過日開催の議会議員全員協議会では、各議員から事業費や今後の運営費、さらには給食費無償化、佐井村・風間浦の動向といった意見があり、このような状況下での計画は不安があります。学校給食セ

ンターは、恒久的に運用管理するものです。大間町全体を踏まえた事業を整理し、明確な財政計画で丁寧な説明が必要ですよ。この課題について町長のお考えは？

町長答弁

建設に係る選定場所や概算事業費のほか、補助申請や両村との協議など課題があります。財政シミュレーションをしっかりと示し慎重に進めたい。

再質問

佐井村や風間浦村との協議はどの程度進んでいるか？

町長答弁

風間浦村は、大丈夫な方向です。佐井村は、費用の割合が高いことで難色を示しております。結論はまだ出ていない。

再質問

基本計画でのビジョンが崩れる可能性も見受けられます。協議がスムーズにいかなければ、運用で危険性があります。自治法上で定められる共同設置の方法も考えられるが町長のお考えは？

町長答弁

給食を公約に掲げており、当時のむつ市長が関根に計画の給食センターを一緒にとの声がありました。ただ、佐井村は距離的・時間的に無理であることから、大間と風間浦にしても、北通りでやるのが目的、目標とお断りました。

再質問

現時点では、なんとか実施設計までには解決して、佐井村が参画しないとすれば、風間浦村と大間町で進めたい。建設では、エネ防の補助金で

建物は、100パーセントで進めており、そのほかの経費では、補助金がない場合に過疎債を考えています。風間浦村の負担は、建物は一切ない場合を考え、独自でもと考えております。

再質問

スケジュールでは、来年度に実施計画、令和7年度に着工・完成を目指す計画で、これから課題を整理し予算や財政運営説明を考えれば厳しいスケジュールです。何としても計画どおりの思いなのか？

町長答弁

補助金活用が遅れています。できれば、実施設計からの対象とするために、来年度からできまますので、計画目標で令和7年4月としたい。

再質問

考え方は理解できますが、今後、詳細の説明、財政計画の見直しなど議会または町民に説明を。新規事業ですので、給食センター設置で既存の福祉の向上やサービス低下があったら困るという思いは当然です。福祉の向上はもとより、さらに住民サービスに努める財政計画が示されれば安心できます。

最後にありますが、町内の交通移動手段の確保や移住定住支援政策、学校給食センターの各種事業は庁舎全体で取り組むことが重要です。町長のリーダーシップの下プロジェクト体制で臨んでください。職員は、相当の業務負担があります。業績評価に反映して頂きたい。よろしくお願いたします。



山崎 一利 議員
質問時間 30分

大間町の財政健全化政策は!!

町長就任時の一般質問において、財政健全化政策についての見解を述べていたが、今一度、財政健全化政策についての見解は。

また、財政健全化政策に対してどのような取り組みをしてきたか、今後の財政健全化政策に対する町長の考えは。

町長答弁
財政シミュレーションの見直しは必要と考えている。

今後の考えは、補助金を活用しながら、電源開発(株)に対して防災面等でも支援をお願いしている!!

財政シミュレーションで予定している事業は、各分野において必要であり、大変重要なものと考え予定どおり実施する方

向で進める。そのうえで、人件費や公共施設の維持

運営費等の経常的に発生する経費や今後見込まれる事業について検証することにより、財政の健全化に努めていく。財政は、

均衡のとれたバランスが理想であり、均衡に近づいたためには、原子力発電所、核燃料サイクル交付金等の新たな交付金の要望等を展開し、住民サービスが低下しないよう

取り組んでいきたいとの考えは今も変わりはない。私の考える健全化とは、財政運営面からみれば、余裕のある財政運営が必要だと感じており、均衡のとれた財政運営に努めていく。私が就任した時点で、仮称大間町複合施設

の建設、消防庁舎の建設と大きな事業がすでに進められていたが継続すべきとの判断をした。今

後発生するランニングコストを踏まえた財政シミュレーションの見直しは必要と考える。次に、健全化政策の取り組みとしては、町長報酬15パーセント、教育長報酬10パーセントのカットを令和3年7月から令和5年3月までの1年と9カ月実施し、副町長の配置も見送っている。

現在の財政事情もあり、私自身の公約に基づいた事業の展開が厳しい状況にあるが、建設事業やソフト事業等は、極力、過疎債等を活用しながら、町の持ち出しを抑えるように努めていく。

再質問
財政健全化とは、悪化している町の財政を改善させることと思うが、町長の言う均衡のとれた財政運営に努めるためにも、財政シミュレーションは、最も大事なものとなつてくると思うが、これについてはどう考えるか。

町長答弁
長期にわたって、財政シミュレーションは必ず必要なものである。これから、複合施設とか、給食センターとか、大函丸とかいろいろ維持管理

費がかかる。できる限り補助金を活用しながら、電源開発(株)に対して防災面等でも支援をお願いしていく。

再質問
公約に基づいた事業の展開が厳しい状況にあるということだが、以前には、財政健全化を維持していくうえで、観光客を誘致して収入を得たいとの思いから、マグロ会館建設について、任期中には道筋を付けたいたが、今現在の考えは。

町長答弁
マグロ会館には取り組んではいないが、レストハウス跡地に海の財団の施設建設の協議を進めている!!

継続する大きな事業があり、取り組んでいない。現在、最北端で島康子氏が、海の財団の事業を行っており、その海の財団の事業の中で、レストハウスの場所に施設を建てたいという計画があり、それを誘致したいとの考えがある。

町が建設するのではなく、法人なるものを組織し、その組織が主になって建設をする。その運営費も、

海の財団が2、3年は負担することであり、建物も無償で建設するという事業である。現在、島氏と一緒に海財団と協議を進めている。

再質問
レストハウスを取り壊して、新たに建設したいということか。

町長答弁
取り壊してやったほうがいいと考える。

再質問
マグロ会館に関しては、そういう考えがあるということと認識はしておく。

町長答弁
町長は、財政担当課より、令和4年10月現在の財政シミュレーションの提供を受けているか。

再質問
その財政シミュレーションには、令和6年度以降、現在進めている給食センター、今後必要となるであろうフェリー関係等々の事業が反映されていない。

財政シミュレーションの見直しは必要と考えていると述べたが、町長就任から3年近くなる現在、見直しをする考えはあるか。

町長答弁
財政シミュレーションは、令和6年3月定例会までには見直す方向で考えていく!!

見直しする時期だと考える。

再質問
見直しするとすれば、その時期は、いつごろと考えるか。

町長答弁
担当課と協議し、答えたいと思う。

再質問
これから担当課と協議をするということだが、遅くとも3月の定例会までには、町長の政策、思い等も予算に反映させた財政シミュレーションを作成し提出する考えはないか。

町長答弁
3月定例会には、出す方向で考えていく。

全員協議会

〔令和5年9月4日〕

案件

大間町健康福祉センター条例(案)について

この条例は、健康・福祉・防災を柱として、子どもから、高齢者まで気軽に集い交流できる新たな交流拠点を目指すとともに、災害時に対応できる機能を含み、住民が安心して生活ができる位置付けを図っていくことを目的として設置する。名称は、大間町健康福祉センター「スマイリー」とする。施設の利用開始時期は、令和6年4月1日以降とする見込みである。

この条例の他、規則もしくは規定等が整備されると町民各位に広報やチラシ等によりお知らせ致します。

特別委員会

〔令和5年9月4日〕

報告

【大間・函館フェリー航路対策特別委員会】

1. 大函丸指定管理更新について

大函丸の指定管理は、津軽海峡フェリー(株)と11年間という期間で契約しておりましたが、令和6年3月31日をもって期間満了となることからこれまで何度も再契約についての協議を重ねて来ておりますが、まだ双方合意に至っておりませんが、町・議会は町民各位の立場に立って、これまでの病院への通院割引きはもとより、町民全員に有利になるよう交渉しておりますので決着次第皆様方にお知らせ致しますので、もう少し時間を頂きたいと思えます。

〔令和5年9月8日〕

【大間原子力発電所対策特別委員会】

案件

1. 新規基準適合性審査の対応状況等について

令和5年6月30日開催された会合で大間原子力発電所は59回目である。J-POWERは先の地震動解析における入力ミスの謝罪をするとともに、規制委員会の理解が得られ、本事業の発生以降中断されていた件については、審議が再開されたこと、報告があった。しかし工事再開が2年延期されたが、もうこれ以上の延期はないものと事業者には、厳しく申し上げたい。



議会のうどき 令和5年8月~10月

8月

- 7月31日~8月2日 決算審査(議会選出監査委員)
- 3日 令和5年度大間地区連合防犯協会定時総会(議長)
- 令和5年度大間地区暴力追放推進協議会定時総会(議長)
- 6日~8日 全国原子力発電所立地市町村議会議長会Aブロック事務局長会議(東京都・事務局長)
- 14日 大間町ブルマリンフェスティバル
- 15日 令和5年度大間町20歳のつどい
- 28日 例月出納検査(議会選出監査委員)
- 28日~29日 令和5年度青森県原子力施設環境放射線等監視評価会議合同会議(青森市・議長)
- 29日 総務教育常任委員会(大間小・奥戸小・大間中・大間幼稚園現地視察)
- 31日 町村議会広報研修会(青森市・議会広報編集委員及び事務局)
- 31日~9月2日 第14回全国原子力発電所立地議会サミット実行委員会(東京都・議長及び事務局)

9月

- 4日 議会議員全員協議会
大間・函館フェリー航路対策特別委員会
- 7日 議会運営委員会
- 8日 第3回大間町議会定例会開会
大間原子力発電所対策特別委員会
- 11日 総務教育常任委員会及び産業建設常任委員会
- 11日~12日 元青森県知事・元衆議院議員 木村守男氏お別れの会(弘前市・議長)
- 12日 決算審査特別委員会
- 13日 一般質問・議案審議
議会広報編集委員会

- 14日 議案審議
第3回大間町議会定例会閉会
- 15日 大間原子力発電所視察(堺議員・傳法(正)議員・傳法(厚)議員・事務局)
- 21日 日本原燃(株)役員との懇談(議長)
- 23日 大間中学校体育祭
- 25日 秋の交通安全パレード(議長)
- 26日~28日 令和5年度町村議会広報研修会
(東京都・堺委員長・吉田委員・山崎委員)
- 27日~29日 下北郡町村議会議長会行政視察研修(北海道・議長及び事務局)
- 30日 本州最北端マラソン大会(議長)

10月

- 2日 例月出納検査(議会選出監査委員)
- 3日 下北郡事務局長会議(佐井村・事務局長)
- 4日~6日 大間町議会議員視察研修(神奈川県・「磯子火力発電所視察」「大間原発用タービン等視察」「電源開発(株)本店表敬訪問」・議員及び事務局)
- 12日 議会広報編集委員会
- 14日 本州四端首長交流懇親会(議長)
大間小学校学習発表会
奥戸小学校学芸会
大間高等学校体育祭
- 20日 議会議員全員協議会
- 21日 大間幼稚園発表会
- 23日~26日 監査委員全国研修会(東京都・議会選出監査委員)
- 24日 議会広報編集委員会

大間原子力発電所建設状況の視察について

去る9月15日（金）

いただきます。

電源開発株式会社大間原子力発電所所長より視察依頼があり、大間原子力発電所対策特別委員会において、大間原子力発電所サイト視察が実施されました。今回の概要は、大間原子力発電所の概要説明及びサイト視察（南側展望台、原子炉建屋地下、取放水路）です。

大間原子力発電所の概要では、◎出力：138万3千kW ◎原子炉：改良型沸騰水型軽水炉（ABWR） ◎燃料：濃縮ウラン及びウランプルトニウム混合酸化物（MOX） ◎着工：2008年5月27日 ◎運転開始：未定となっており、計画などの経緯は、電源開発株式会社で広報などで周知のため略させてい

Сай ト 視 察 で は、原 子 炉 建 屋、タ ー ビ ン 建 屋・廃棄物処理建屋、取・放水設備、原子炉格納容器モジュールな

ど敷地全体が見わたせる見学会場でした。また、その敷地の広さ約130万㎡（東京ドーム約28個分弱相当）は驚きです。

原 子 炉 建 屋 地 下 で は、入 口 か ら 靴 底 の 洗 浄 を 施 す 動 作 を 経 て、原 子 炉 格 納 容 器 の 真 下 で 地 下 3 階 部 分 の 見 学 で し た が、密 閉 空 間 か ら 異 様 に 暑 く 感 じ ら れ、鉄 筋 や コ ン ク リ ー ト と い っ た 現 物 が 目 の 前 で 見 る こ と が で き ま し た。原 子 力 規 制 委 員 会 に よ る 新 規 制 基 準 適 合 性 審 査 に 時 間 を 要 し て い る こ と か ら、劣 化 防 止 の 徹 底 管 理 の も と

様 々 な 工 夫 を 凝 ら し て い る こ と や 費 用 負 担 が 感 じ ら れ ま し た。

取 放 水 路 で は、基 準 津 波 に 対 応 す る 条 件 の も と 工 事 が 進 め ら れ て お り、取 水 口（高 さ：7.8 m 横：6.5 m、取 水 量：毎 秒 91 m³、取 水 路 の 長 さ：110 m ～ 130.3 m）の 巨 大 さ に は 度 肝 を 抜 か れ ま し た。ま た、排 水 口 か ら の 海 水 温 度 変 化 は 7 度 上 昇 と 説 明 が あ り ま し た。潮 の 満 ち 引 き に よ る 影 響 な ど も 緻 密 に 計 算 さ れ、安 全 対 策 に つ い て も 強 化 さ れ て い る も の と 感 じ ら れ ま し た。

原 子 炉 建 屋 地 下 や 取 放 水 路 視 察 は、工 事 中 の 今 が 見 学 で き る タ イ ミ ン グ で あ っ た こ と か ら、貴 重 な 体 験 を さ せ て い た だ き ま し た。

最 後 の 質 疑 や 意 見 交 換 で は 発 電 所 に 係 る 工 事 と い っ た 専 門 的 技 術 以 外 に、地 域 住 民 に 関 心 の あ る、避 難 計 画 の あ り 方 や 発 電 所 及 び 関 連 会 社 の 工 事 期 間 中 や 運 転 開 始 後 の 雇 用 の あ り 方 に 話 が お よ び ま し た。ま た、電 源 開 発 株 式 会 社 が 主 催 又 は 後 援・協 賛 す る 広 報 活 動 で 現 役 層・次 世 代 層 へ の 取 り 組 み 紹 介 が あ り ま し た。

地 域 の 皆 様 も 電 源 開 発 株 式 会 社 が 開 催 す る 大 間 原 子 力 発 電 所 の 視 察 を と お し て、日 頃、感 じ て い る こ と を 直 接 お 尋 ね で き る 機 会 と し て 参 加 し て み て は い か が で し ょ う か。

▼意見交換、質疑応答の様子



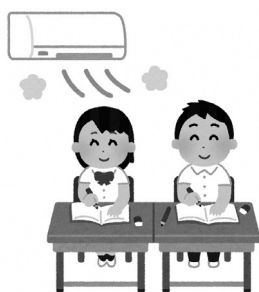
▲南側展望台視察の様子

教育施設へ空調設備の設置に向けて

今年の夏は、猛暑となり大間町においても、記録づくしの暑さとなりました。2学期が始まろうとしている折、地域の方々から議会議員に学校教育現場での暑さ対策についての心配が寄せられておりました。全国的にも部活の最中や帰り道に体調を崩して、救急搬送されるなどのニュースが流れていました。大間町では、午前学習を講じるなど対応がなされていましたが、抜本的な対応とはいえないことから、大間町議会総務教育常任委員会（竹内委員長）で常任委員会の調査として、

8月29日（火）に各学校（大間小学校・奥戸小学校・大間中学校・大間幼稚園）を訪問の上、5項目（①温度・湿度計の有無②窓の開閉状況③扇風機の設置④エアコンの設置⑤水分補給のしやすさ）について現状を確認しました。この結果、①から③までと⑤は概ね良好な状態でしたが、④エアコンの設置については、保健室やパソコン室など特定教室に限定されている状態でした。また、施設訪問の情報交換では、すべての施設の共通の想いとして、子供たちの健康管理と学力向上など快適な学校生活の提供を旨とし、エアコン設置の要望が強くあり出席委員は、共感の想いで施設を後にしました。

これらを踏まえ、総務教育常任委員会では、9月8日（金）諸会議終了後、当該事案について議員全員に報告し、教育施設への空調設備の早期設置に向けた取り組みを図られるよう、議会の総意として石戸議長が野崎町長に進言を行いました。財政的に負担が大きいものですが、早期の計画・実施に期待したいところです。



町村議会広報研修会
令和5年8月31日(青森市)

青森県町村議会議長会主催による議会広報実務担当者を対象とし、議会広報サポーター芳野政明氏を講師に「議会広報のつくり方」「議会広報のクリニック」と題し、研修会がありました。



会場の様子
(参加者委員)

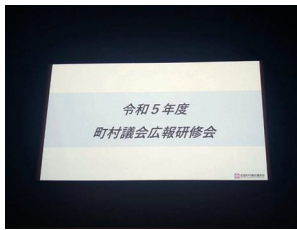


講演をする芳野政明氏
(青森県労働福祉会館)

令和5年度町議会議会広報研修会

令和5年9月26日～28日(東京都)

全国町村議会議長会主催による議会広報編集委員等を対象とし、弁護士・玉置菜々子氏、「広報担当者が知っておきたい法律知識」、メディアプランナー・白木一誠氏「広報紙づくりのポイント」、グラフィックデザイナー・平本久美子氏「デザインの力で、もっと伝わる議会広報紙に」と題し、それぞれの講演がありました。



9/27 研修会場
(日経ビル)



9/27 会場の様子
(参加者委員)

令和5年度大間町議会議員視察研修

令和5年10月4日～6日(神奈川県横浜市・東京都)

電源開発(株)磯子火力発電所視察・大間原発用タービン等視察・電源開発(株)本店表敬訪問

○磯子火力発電所視察→最新の環境対策設備により、世界最高水準で両立した都市型石炭火力発電所として稼働している。

○大間原発用タービン等視察→発電機用タービン・タービンケーシング・タンク・熱交換器・配管等が、東芝エネルギーシステムズ(株)において製作され保管されている。

○電源開発(株)本店表敬訪問→改めて、早期工事再開を要望した。



10/5 火力発電所視察(横浜市)



10/5 大間原発用タービン等視察(横浜市)



10/5 電源開発(株)本店表敬訪問(東京都)

編集後記

地球温暖化が進んでくると実感、危惧する今年の夏は、今までにないほどの猛暑が続く、人と会えば挨拶が「暑いのお」が決まり文句で、毎年、『今年が一番暑い』と言ったのは私だけではないと思います。

そんな暑さ続きのなか、大間町での恒例行事である、稲荷神社例大祭、春日神社大祭、ブルーマリンフェスティバル、お盆などの行事が行われました。皆、汗だくになりながら頑張ったのが記憶に残りました。そして、夏の暑さも過ぎ、秋の行事も行われ11月ともなれば、肌寒くなり冬が近くなりますが、寒くなればなつたで、どこか少し寂しい気持ちにも感じます。真冬になれば寒さも厳しくなつて大変ですが、現在の物価高騰、燃料費高騰と値上げ値上げ経済的にも厳しい状況が続いておりますが、それを乗り越えていかなければいけませんので、乗り越えられるよう私たちが頑張っていきたいと思っております。なにをするにも健康が第一ですので、皆様、コロナウイルス、風、インフルエンザ等と様々ありますが、体調管理には十分注意し健康にお過ごし下さい。

記【傳法(厚)】

議会広報編集委員

委員長
副委員長
委員

堺 祐介
傳 厚史
傳 正広
吉 安男
山 崎一彦
佐々木 信彦